

委員会行政調査報告書

令和5年8月1日

尾張旭市議会議長 殿

総務委員長

市原 誠 二

本委員会は所管事務調査のため下記のとおり行政調査を行いましたので、報告します。

期日等	期 日	調 査 先
	令和5年7月31日	大阪府箕面市
	令和5年8月 1日	大阪府八尾市
参加者	計 <u> 7 </u> 名 市原誠二、山下幹雄、大島もえ、陣矢幸司、 谷口武司、丸山幸子、若杉たかし	
調査項目及び内容	1 大阪府箕面市 「地域防災ステーション設置について」 (1)支援物資の配布は優先的に自治会を通じて行うことについて (2)自治会加入率の向上と地域防災ステーションの役割について (3)地域防災ステーションに格納されている中身について 2 大阪府八尾市 「市議会×高校生プロジェクトについて」 (1)プロジェクト誕生の経緯や背景について (2)有権者教育とプロジェクトの関係について (3)今後のプロジェクトの広がりについて (行政調査の成果等は別紙にて報告)	
その他	参考資料は別添のとおり	

## 総務委員会行政調査報告書

委員長 市原 誠 二

7月31日・8月1日に大阪府箕面市及び八尾市を訪問し、行政調査を行いました。

箕面市では、「地域防災ステーション」について調査を行いました。地域防災ステーションとは、自治会などの災害時の一時的な集合場所や救助活動の拠点に消火・救助資機材を整備した防災拠点です。

地域コミュニティによる災害時の共助の象徴として「防災」を核にした地域力の再生を図ることを目指し設置がされました。

「避難する」という概念から「地域で消火・救助活動をする」という意識付けのためにこのステーションを活用し「自治会等の活動拠点」という啓発を進めておられました。自治会加入率の低下の課題は尾張旭市でも例外ではなく、対応策として有効な施策・考え方であると委員全員が共通認識を持ちました。

八尾市では、「市議会×高校生プロジェクト」について調査を行いました。同市では、主権者教育の一環として、学生の皆様に議会への関心を持ってもらい議会を身近に感じてもらうために、高校生と議会が共同で様々な取り組みを行っていました。具体的には、学生の意見を市議会だよりも反映させてより良い誌面としていくことを目的に実施されました。誌面づくりを通じた学生と議会の信頼関係も醸成されており、主権者教育の一つの手段として有効な施策であると考えられます。さらなる展開については現在検討中であるとのことでしたが、尾張旭市でも主権者教育に向けて議会が果たす役割を強化していく必要があると考えました。



大阪府箕面市にて



大阪府八尾市にて